

講座名 (コード)	哲学対話（ことばの寺子屋） (202)	募集 人数	10名	曜日 時間	火曜日 10:40-12:20
対象者	ことばに興味がある方、対話によって自己を見つめ直すことに関心のある方				
講座内容	講師は詩人・作家・文芸評論家を本職とする者です。この講座では、さまざまなテーマに沿った哲学対話を通じて、自己を見つめ直し、自身の考えを言語化できるように展開します。また、講師の特性を活かした、詩作やエッセイの創作を通じて、受講生それぞれに根ざしたことばを引き出し、哲学対話に還元できるようにします。より自由に、よりフレキシブルに、山吹高校らしさを取り入れて、風通しの良い講座にしたいと思います。哲学対話は、相手のことばを傾聴し、自己を確かめる時間です。ことばを通じて学び合い自己を知ろうと試みる本講座を、江戸時代の寺子屋になぞらえて、サブタイトルとして「ことばの寺子屋」と名付けました。				
達成目標	自分自身のことばを探し出し、表現できるようになる。 対話を通じて、自己を問い直し、それを具体的に表すことができる。				
年間予定	前期：〈私〉とはなんだろう。 1、(本当の)自己紹介と、(偽)の自己紹介 2、対話のためのグループワークの実践 3、「生きること」、「学ぶこと」、「愛すること」等のテーマによる哲学対話をします。 4、書く〈私〉と書かれた〈私〉をテーマに、対話をします。 5、詩、小説、短歌作品を読み、〈私〉のことばを探し出します。 後期：〈私〉を表したい。 1、文学、映像、演劇、舞踏、美術、音楽など、あらゆる表現形態から〈私〉を表すものを一つ以上選び、講座内にて口頭発表をし、それを受けて受講生同士での対話をします。実際に創作物を持参・パフォーマンスしても構いません。 2、哲学対話によって探し出した〈私〉、そして問い直した〈私〉をテーマとした哲学対話をします。 予定は、講座の進捗や受講生との対話によって大いに変わりうるものとあらかじめお伝えします。必要に応じて、高校周辺の散策による詩作や哲学対話、あるいは短歌の歌会や俳句の句会等も考えています。受講生との対話を通じて、また、個々の長所を鑑み、カリキュラムは柔軟かつ深度のあるものを目指し、より密度の濃い講座にしたいと思います。				
用意 するもの	筆記用具。 その他必要なものが生じた際は、その都度講座内でお知らせします。				
教科書名	特になし。 あくまでも参考までに講師の著作物を挙げますが、持参せずとも構いません。				
教材費等	特になし。				
担当予定 講師略歴	1984年東京都生まれ、詩人・作家・文芸評論家 慶應義塾大学文学部卒、法政大学大学院人文科学研究科日本文学専攻修士課程修了 同博士後期課程 2025年9月修了 博士（文学） 法政大学兼任講師、法政大学江戸東京研究センター客員研究員 目黒学園カルチャースクール講師、朝日新聞文庫書評担当などを務める 詩集に『ダンスする食う寝る』（歷程新鋭賞受賞）、『ロックンロールは死んだらしいよ』 小説に『テーゲベックのきれいな香り』				